

基 調 講 演

Complementary Therapies: New Challenges for Old Therapies コンプリメンタリーセラピー：看護独自の新たな挑戦



Mariah Snyder PhD, RN

Professor Emeritus, University of Minnesota School of Nursing Minneapolis, MN

マラヤ・スナイダー博士

(ミネソタ大学看護学部名誉教授)

座長：種池 禮子（明治国際医療大学看護学部長）

【略歴】 Mariah Snyder 博士。ミネソタ大学看護学部名誉教授，看護師。

生涯を通して、看護独自の介入と補完療法に携わってこられました。博士のご研究は、慢性疾患の人々のストレス軽減や、高齢者、特に認知症を持っている人々の健康と幸福を促進することにおいて、補完療法の効果に焦点を合わせておられます。博士はミネソタ大学の看護学博士課程の老年看護学分野のプログラムを発展させた指導者であり、同じくミネソタ大学の Center for Spirituality and Healing（スピリチュアリティ & ヒーリングセンター）の創始者の一人として、そのセンターの大学院の多分野副専攻科目の制定も行っておられます。

また、博士は女性達の矯正施設でのボランティア活動において、補完療法を用いられたこともあります。目下の博士のボランティア活動は、市内の貧困居住地から来る学生達のための大学予備校であるミネアポリスのクリスト・レイ・イエズス高校の図書館を作り上げることです。

つい最近、Snyder 博士と Ruth Lindquist 博士は「*Complementary/Alternative Therapies in Nursing*（看護における補完代替療法）*」の第6版の執筆を終えられたところです。

* アメリカ、日本では2009年11月に発売となる予定です。

Abstract: The presentation will provide an overview of health systems other than Western biomedicine and how a number of the therapies from these systems have become a part of an integrated health care system under the term, *complementary therapies*. Therapies from the four National Center for Complementary/Alternative Medicine (NCCAM) categories and how these are used in nursing will be described. Challenges nurses and other professionals encounter in using these therapies will be explored. These challenges will be summarized with emphasis placed on how these impact nurses using complementary therapies.

要旨：プレゼンテーションでは、西洋の生体臨床医学以外のヘルスシステムについて、そして、またこれらの治療法がいかにして補完療法という名の下で統合化されたヘルスシステムの一部になってきたかについて、概要を示します。次に、国立補完代替医療センター（NCCAM）の4つのカテゴリーにおける療法と、これらを看護で使用するための方法について述べていきます。そして、看護師と他の専門家がこれらの療法を用いて遭遇する挑戦すべき課題を探っていきたいと思います。これらの課題については、それが補完療法を使用する看護師にどのような影響を与えるかという点を強調しながら、要約していく予定です。